

# H-IIAロケット26号機による小惑星探査機「はやぶさ2」の打ち上げについて



資料11-2-1  
科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
ISS・国際宇宙探査小委員会  
(第11回)H26.12.12

宇宙航空研究開発機構(JAXA)は、**H-IIAロケット26号機により小惑星探査機「はやぶさ2」(Hayabusa2)を打ち上げ成功**。H-IIAロケット・H-IIBロケット・イプシロンロケット(基幹ロケット)は**現在25機連続で打ち上げに成功(成功率96.8%)**。(H-IIAロケットについては、平成19年打ち上げの13号機以降、三菱重工業株式会社による打ち上げ執行を実施。)

## 打ち上げ日時・場所

### ○ 打ち上げ日及び時間

平成26年12月3日(水) \*午後1時22分4秒



打ち上げ成功

\*当初予定の11月30日から天候不良により2度延期。

### ○ 打ち上げ場所

宇宙航空研究開発機構 種子島宇宙センター 大型ロケット発射場



## 今後のスケジュール

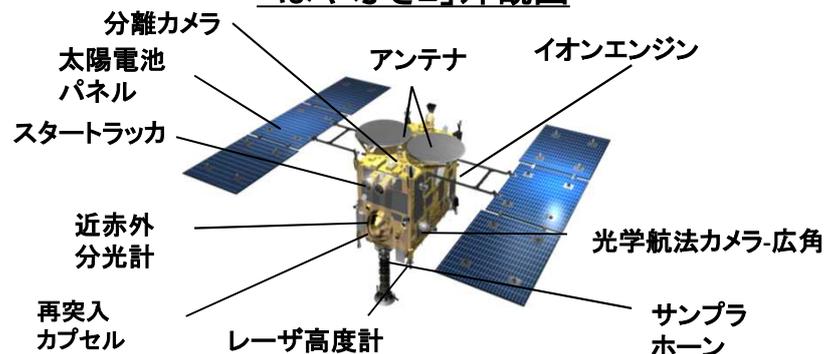
- 平成27年末に地球スイングバイにより、小惑星に近い軌道へ進入
- 平成30年夏に小惑星に到着、**サンプリングやリモートセンシング等の調査を実施**
- 平成31年末に小惑星を出発、**平成32年末に地球に帰還する予定**

## 打ち上げ探査機

### 小惑星探査機「はやぶさ2」

- 総開発費: 約290億円
- ターゲットとする小惑星は、「1999JU3」と呼ばれるC型小惑星。この小惑星には**鉱物に加えて、水・有機物の存在が考えられ、太陽系や地球の起源と進化の過程や生命材料物質の起源の解明が期待**できる。
- 「はやぶさ」にはなかった機能として衝突体を小惑星に衝突させ人工的にクレーターを作る装置を搭載しており、太陽光や太陽風にさらされていない内部物質を観測するとともに、同クレーターから試料採取を行う予定。
- 12月5日までに、太陽電池パドルの展開、サンプラホーン(サンプリング装置ホーン部)の伸展、姿勢制御装置機能、地上の軌道決定システムの機能などを確認。

### 「はやぶさ2」外観図



- ・質量: 約600kg
- ・目標天体: 1999JU3
- ・搭載機:  
小型着陸機MASCOT(独・仏)  
小型ローバMINERVA-II(日本)